

第2回 葛飾区地域福祉活動計画策定委員会 議事要旨

日時：平成18年7月31日（月）午後2時～

場所：地域福祉・障害者センター1階 社協研修室

■委員出欠席

葛飾区社会福祉協議会	秋山 精一	出席	葛 飾 区	西村 政次	出席
葛飾区社会福祉協議会	大谷 隆興	出席	葛飾区医師会	石川 辰雄	欠席
葛飾区社会福祉協議会	星野伊三郎	出席	葛飾区歯科医師会	田中 貞二	出席
葛飾区自治町会連合会	浦岡 秀次	欠席	社会福祉施設	岩井 政宏	出席
葛飾区自治町会連合会	高藤 忠男	出席	葛飾区障害者福祉連合会	佐藤 光一	出席
葛飾区民生委員児童委員協議会	金子 榮子	出席	葛飾区高齢者クラブ連合会	池田 彰宏	出席
葛飾区民生委員児童委員協議会	小野寺定市	出席	葛飾区青少年育成地区委員会会長連絡協議会	黒田 健	出席
葛飾区民生委員児童委員協議会	清水 正六	出席	かつしかVネット	中里 隆二	出席
学識経験者（明治学院大学）	河合 克義	出席	公募区民	石井 朱美	出席
学識経験者（東京都社会福祉協議会）	池田 明彦	出席	オブザーバー（明治学院大学研究員）	菅野 道生	出席

（敬称略）

■議事次第

1. 開 会
2. 議 事
 - (1) 区民意識調査の結果について
 - ①区民意識調査報告書について
 - ②区民意識調査の要約とポイントについて
 - ③区民意識調査からみえる今後の課題について
 - (2) 地域福祉の現状について
 - ①統計基礎データからみた葛飾区における地域の現状と課題について
 - ②葛飾区社会福祉協議会の事業に関する現状と課題について
 - ③地域福祉活動計画の策定に関する課題と今後の方向性を考えるにあたって
3. その他
4. 閉 会

■配布資料

- | | |
|-----|---------------------------------------|
| 別紙1 | 葛飾区における福祉のまちづくりに関する区民意識調査報告書 |
| 別紙2 | 葛飾区における福祉のまちづくりに関する区民意識調査の要約とポイント |
| 別紙3 | 「葛飾区における福祉のまちづくりに関する区民意識調査」からみえる今後の課題 |
| 別紙4 | 統計基礎データからみた葛飾区における地域の現状と課題 |
| 別紙5 | 葛飾区社会福祉協議会の事業に関する現状と課題について |
| 別紙6 | 地域福祉活動計画の策定に関する課題と今後の方向性を考えるにあたって |

1. 開 会（事務局より）

（1）策定委員会委員の交代について

学識経験者で、東京都社会福祉協議会から選出の 小島 敏明 委員に替わり、池田 明彦 委員が就任。

（2）作業委員会の設置について

第1回策定委員会で作業委員会の設置は承認された。各推薦団体に対し推薦依頼を行い、配付資料のとおり13名を選任。委員長には河合委員、副委員長には菅野委員が就任。

2. 議 事

（1）区民意識調査の結果について

（2）地域福祉の現状について

上記議題に対する委員による検討・確認事項の要約

< 計画全般について >

- ・ 計画の策定にあたっては、特徴のある方向性を示し、重点を絞って議論していく。

< 情報提供等について >

- ・ 若い世代や無関心層等に対し、社協だよりをはじめとした情報提供の充実を図ることが必要。
- ・ 情報不足から、困っていてもサービスの利用につながらないという問題が起きている。
- ・ 住民の地域活動への参加につながるようなPR活動とはどのようなものか具体的に検討が必要である。
- ・ 社協の認知度を向上させるようなPR活動が必要。
- ・ 情報の種類によって、提供媒体や提供規模をかえるなどの工夫が必要である。

< 地域活動について >

- ・ 地域の課題解決には、自治町会や青少年育成地区委員会をはじめ、さまざまな関係団体の地域力や地域の活力が必要である。また、地域の中でのネットワークづくりは考えていかなければならない課題。
- ・ 地域活動の担い手として、町会・自治会等の活動とあわせて、ボランティアグループやNPO等の活動にも着目する必要がある。また、両者がどのように手を携えていくか、その方法を考えていきたい。
- ・ 地域活動を推進するためには、関係機関同士の連携が不可欠である。
- ・ 見守りネットワークができれば、地域における様々なニーズに柔軟に取り組むことができると思う。
- ・ まちづくりのためには、すべての住民が1つでも地域活動に関わるのが大切。
- ・ 地区レベルでは対応できない課題が多々あるので、課題に対応するシステムを全区レベルでつくっていくことが必要。
- ・ 小地域という単位を設定して、住民ぐるみの活動のシステム化を確立するため、検討が必要。

< 社協活動について >

- ・ 社協活動や地域活動は、今後どのような地域割を基礎に展開していくのか検討が必要である。

- ・ 社協は、町会・自治会等の既存の団体にばかり仕事を依頼するのではなく、地域の課題に対応する専属の団体を新たにつくるという視点も重要である。
- ・ 今回の委員さんからの意見を踏まえ、作業委員会で課題を検討する。

3. その他（事務局より）

- ・ 委員会の議事要旨及び委員の名簿を、HP等をはじめ公開していく。ただし、委員会の構成委員名、及び議事要旨のみの公開（誰が何を言ったかは公開しない）。また、作業委員会でも同様に公開していく予定。 → 一同承認。